

**電気電子工学委員会URSI分科会電磁波計測小委員会**  
**(第26期・第1回)**  
**議事要旨**

**日時**：2024年8月27日(火) 14:00-16:20

**場所**：オンライン会議 (Teams)

**出席者(敬称略、五十音順)：委員15名のうち14名が出席**

木下基(産業技術総合研究所)、洪鋒雷(横浜国立大学)、小山泰弘(情報通信研究機構)、五箇繁善(東京都立大学)、杉山和彦(京都大学)、高見澤昭文(産業技術総合研究所)、高本将男(理化学研究所)、田邊健彦(産業技術総合研究所)、蜂須英和(情報通信研究機構)、藤井勝巳(情報通信研究機構)、細川瑞彦(情報通信研究機構)、武者満(電気通信大学)、森岡健浩(産業技術総合研究所)、安田正美(産業技術総合研究所)

(\* 中川賢一委員(電気通信大学)は欠席)

**配布資料**：

資料1：産業技術総合研究所における活動報告資料

資料2：横浜国立大学における活動報告資料

資料3：情報通信研究機構における活動報告資料

**議題等**：

- (1) 役員(委員長)の選出
- (2) 各委員の自己紹介
- (3) 新委員による研究紹介 (高見澤委員)  
    タイトル：「原子泉一次周波数標準器とその周辺技術」
- (4) 各委員の活動報告
- (5) 議事要旨の提出に関する委員長一任について
- (6) 小委員会委員間のメールアドレス共有について
- (7) 今後の活動方針・開催形式について
- (8) その他

**議事内容**：

1. 蜂須委員(情報通信研究機構, 第25期委員長)より、第25期の本委員会の活動の総評と第26期の委員長の選出について発議された。事前のメール審議の通り、田邊委員(産業技術総合研究所)が第26期委員長候補として紹介され、出席委員による多数決の結果、田邊委員が第26期委員長として選出された。

2. 第26期の各委員による自己紹介が行われた。
3. 第26期からの新委員である高見澤委員(産業技術総合研究所)より、「原子泉一次周波数標準器とその周辺技術」と題した研究紹介が行われた。
4. 各委員の活動報告が行われた。
  - 4-1. 安田委員(産業技術総合研究所)より、配布資料1を元に産業技術総合研究所における活動報告が行われた。
  - 4-2. 洪委員(横浜国立大学)より、配布資料2を元に横浜国立大学における活動報告が行われた。
  - 4-3. 五箇委員(東京都立大学)より東京都立大学における活動報告が行われた。
  - 4-4. 蜂須委員・藤井委員・細川委員(情報通信研究機構)より、配布資料3を元に情報通信研究機構における活動報告が行われた。
  - 4-5. 杉山委員(京都大学)より京都大学における活動報告が行われた。
  - 4-6. 高本委員(理化学研究所)より理化学研究所における活動報告が行われた。
  - 4-7. 武者委員(電気通信大学)より電気通信大学における活動報告が行われた。
5. 田邊委員長より「議事要旨の提出に関する委員長一任について」の議題が出され、多数決の結果承認された。
6. 田邊委員長より「小委員会委員間のメールアドレス共有について」の議題が出され、多数決の結果承認された。
7. 田邊委員長より本委員会の今後の活動方針・開催形式について議題が出され、基本的には第25期までと同様に毎年一回開催する予定で、それ以外に議論すべき議題が生じたらその都度開催する方針が承認された。開催形式(オンラインもしくは対面)については、2025年秋に開催予定の「URSI電波科学会議(URSI-JRSM 2025)」の概要が明らかになり次第、この会議期間中に委員会を開催するかなどを改めて委員間で議論することとなった。
8. 田邊委員長より、第26期におけるURSI旗艦会議の開催状況・開催予定について報告された。2024年5月末にURSI大西洋電波科学会議(AT-RASC 2024)がグラン・カナリア島(スペイン)で開催され、Commission A関連では香取秀俊教授(東大/理研)と井戸哲也博士(情報通信研究機構)に講演を引き受けていただいたことが報告された。2025年8月にURSI太平洋電波科学会議(AP-RASC 2025)がシドニー(オーストラリア)で、2026年8月にURSI総会(URSI-GASS 2026)がクラクフ(ポーランド)でそれぞれ開催予定であることが報告された。また、2028年に開催予定のAT-RASC 2028の日本招致に向けたワーキンググループがURSI分科会で立ち上がったことが報告された。

以上

(2024/10/21 文責 田邊)